

試験名	令和8年度 看護学研究科 博士前期課程入学試験
入試種目	学内推薦 / 秋期選抜 / 冬期選抜
問題種目名	前期課程（共通問題） / 前期課程（英語問題） / ○○看護学領域（○○コース）
出題意図及び解答例または採点の観点 (試験問題自体を公開しない場合はその理由)	
<p><出題意図></p> <p>本英文は、日本の少子高齢化とジェンダー平等をテーマに、現代社会の構造的課題を論理的に分析している。大学院で求められる読解力・批判的思考力、社会問題への理解を総合的に評価できるため、出題した。</p> <p><解答例（採点時の観点）></p> <p>問1 下線部(1)の意味として最も近いのはA～Dのどれか、一つ選びなさい。 (採点時の観点：文脈理解力を問う)</p> <p>A. already happening B. unavoidable and permanent C. likely to happen soon D. imaginary or exaggerated</p> <p>解答：C</p> <p>問2 下線部(2)では、日本の人口危機の原因は単純であると述べられているが、その具体的な理由を日本語で説明しなさい。(採点時の観点：内容の正確さ、論理性)</p> <p>解答例：女性たちが人生の選択肢に満足できておらず、独身のままでいることを望み、また妻や母になることに伴う負担を背負うことを望んでいない。日本の女性は自分たちの人生をよりコントロールし、仕事と家庭に関して、より男性と対等であることを求めている。</p> <p>問3 下線部(3)は何をさすか、括弧内に入ることばを日本語で答えなさい。 (採点時の観点：データ解析力)</p> <p>解答例： (労働人口) に対する高齢者人口の割合</p>	

問4 下線部(4)では、日本における女性の労働上の問題が述べられている。本文の内容に基づいて1つ挙げ、日本語で述べなさい。

(採点時の観点：構成・論理展開、日本語表現力)

解答例：

1. 幼い子を持つ既婚女性は、一日平均7時間以上を無報酬の世話や家事に費やしていて、これは男性の4倍である。
2. 働いている女性でさえ、ほとんどの家事をこなすことが求められ、家庭内の責任から「逃れている」と見なされれば、軽蔑、もしくはさらにひどい仕打ちを受けかねない。
3. 女性の賃金は、男性の同僚よりはるかに低い。日本の男女間賃金格差はG7諸国の中で最も大きい。
4. 子どもを持つことのためらいがあり、経済協力開発機構(OECD)のデータによると、子どものいない中年女性の割合も、先進国の中で日本が最も高い。

問5 下記の文章を読み、本文の内容を踏まえ正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。(採点時の観点：内容の正確さ)

- a. 日本は外国人長期滞在者の流入を制限し、経済的利益よりも社会的同質性の維持を優先させてきた
- b. 多くの先進国で高齢化と出生率の低下という「ダブルパンチ」が起きているが、日本の場合の軌跡が他国に比べて急激である
- c. 就業している女性の10%が非正規雇用で働いていた
- d. 日本の女性の雇用拡大のために何より重要なことは、社会における女性の役割に対する考え方が変わることである

解答： a. (○) b. (○) c. (×) d. (○)